別紙様式３

２０２１年（令和３年）３月５日

福山市立常金中学校長　様

常　金　中　学　校　区
学校関係者評価委員会

２０２０年度（令和２年度）学校関係者評価報告書

評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	◎
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	◎
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	◎
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	◎
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	○
7	中学校区や学校は，教育活動に関する情報を，保護者・地域住民等に積極的に発信している。	◎
8	積極的な情報発信により，中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	◎

【意見等】
・学校再編に関しては，子供たちの力を信じるに尽きる。
・例年通りにできない状況の中，工夫して授業・行事に取り組んでいる。
・コロナ禍，学校再編という大事業の中，地域との交流も含め，教育内容に心温まる工夫と，子供たちの将来に向け果敢に取り組みをしていることに感謝する。
・課題については，１年でなく継続的に取り組んでもらいたい。

※　評価基準

評価	基　　準	説　　明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。